

平成二十九年年度

玉東中学校便り 第2号

文責 田河



「希望の虹」

平成二十九年五月九日

体育大会へ向けて練習スタート

連休明けの5月8日(月)、いよいよ体育大会へ向けて練習がスタートしました。まず、生徒会執行部から今年の大会スローガンは「**限界突破 一段進せよ**」に決定したと発表されました。赤団の団長は緒方博雅君、青団の団長は高口蒼太君がそれぞれ務めます。結団式では、両団長から立派な決意表明があり、その後、各団に別れてリーダーの紹介や隊形づくりをしました。気合いや不安が入り交じる中、リーダーたちは一所懸命に頑張っていました。



これからの2週間、短い期間だけれど、何のために、なぜ体育大会をするのか目的意識を明確にし、練習の過程を大切にやり組んでもらいたいと思います。結果として、これまでになような体育大会となることを期待しています。

今年度の本校の7クラスについて、「担任の先生と学級目標」を紹介します。どのクラスも独自色があり、魅力的なクラスです。

(一年一組) 担任：小重貴 先生

「家族」〜最後まで必ず笑いあえる仲間、家族のように真剣に仲良く、親身になって話を聞ける仲間になりたい

(一年二組) 担任：小山 忠仁 先生

「協超」〜超協力して、超頑張る、超(スーパー)な一年二組

(二年一組) 担任：宮本 齊之 先生

「無人島」 失敗と向き合い、仲間を励ましながら主体的に行動できる学級をつくる

(二年二組) 担任：鳩野 文也 先生

「完全燃焼」〜個前最協、個性を持ち、前進させ、最大限の力を使って協力し合いたい

(三年一組) 担任：本田 大房 先生

「迷路」 迷いながらも信じた道へ

(三年二組) 担任：下原 英雄 先生

「夢希向輝(ムキムキ)」 互いに助け合い、同じ道を歩くクラス 夢希向輝とは夢や希望に向かつて輝くこと

(ひまわり) 担任：熊本 紋子 先生

「自分のことは自分でやる」

不思議な出来事



これが、桜の木に群がる蜂の大群です

昨日、本校敷地内でもとても不思議な現象を目撃しました。

「木の枝に蜂が大量に集まって巣を作っています」との報告。さっそく現場を見に行ってみると、おびただしい数の蜂(種類は何か分からない) スズメバチ等ではなく小型の蜂 写真参照) 一見、ギョッとするような光景でした。生徒が登下校で通る場所なので、駆除しなければと思いましたが、とても通常使うスプレーで対応できる数ではありません。教育委員会に相談したところ、さっそく見に来られ、すぐに対応しますとのことでしたので安心しました。

ところが、その二時間後、再度現場を確認しましたが、全く何事もなかったかのようには蜂の大群は完全に消滅していました。一体何が起きたのか、未だによく分からない不思議な出来事です。幸い生徒に被害はありませんでした。